

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	11	学 校 名	檀原高等学校
-----	----	-------	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	檀原市中高連携事業
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	生徒会活動、文化活動及び英語教育活動を通して、本校生と檀原市内中学生との交流により、檀原高等学校と各中学校との連携を深める。
連携・協働相手	檀原市教育委員会、檀原市内中学校
地域と共有している目標・課題等	本校へは市内だけでなく、他の市町村からも生徒が通学しており、それらの生徒についても、檀原市の良さを理解させるとともに、歴史と環境に恵まれた檀原の地で学ぶ意義を理解させ、地元愛を醸成する契機とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
本校生徒と檀原市内中学生が相互に訪問し交流することにより、相互理解を深めるとともに、高校生と中学生が英語プレゼンテーションコンテストに協働で参加することによって、双方の英語力向上を目指した。	

2. 事業の成果と課題

檀原市中高連携事業については、檀原市教育委員会と連携をはかりながら、本校生徒と市内中学生とが協働でさまざまな事業に取り組み、交流を深めている。本年度は生徒会による挨拶運動や募金活動などを数回実施し、英語によるプレゼンテーションコンテストを実施した。英語によるプレゼンテーションコンテストは本年度が2回目で、新しい取組としてコンテスト前に本校2年生を中学校へ派遣し、中学生のプレゼンテーションを指導した後に、本番を迎えられるように工夫した。協働で事業を実施した中学校の生徒及び教職員からは参加した生徒の英語学習に取り組む意欲の向上など成果が報告された。次年度は、人権教育の分野において地域人材を学校へ招き、地域の方々と高校生とのつながりを深めるような取組を進めていきたい。

